

地域循環

地域循環共生圏の創造に資するための業務について

業務目標

地域からのグリーン社会を見据えた地域課題解決に資する協働モデル事例の創出
 ●地域循環共生圏に向け多様なステークホルダーが連携して地域課題解決に取り組む地域プラットフォームの動きを加速・深化させる環境整備支援、実践主体のネットワーク形成支援等を実施する。

地域循環共生圏とは

地域循環共生圏（2018年、第5次環境基本計画）は、地域資源を活用して環境・経済・社会を良くしていく事業（ローカルSDGs事業）を生み出し続けることで地域課題を解決し続け、自立した地域をつくるとともに、地域の個性を活かして地域同士が支え合うネットワークを形成する「自立・分散型社会」を示す考え方であり、その際に、私たちの暮らしは森里川海のつながりからもたらされる自然資源が活用できる範疇でのみ成り立つため、それらを持続可能な形で活用していくとともに、自然環境を維持・回復していくことが前提となる。

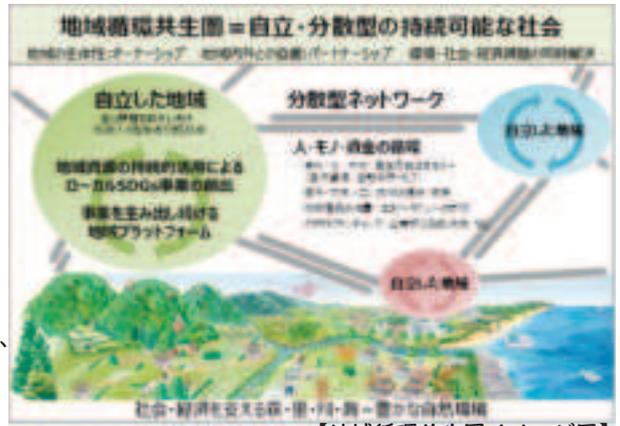
地域の主体性を基本として、パートナーシップのもとで、地域が抱える環境・社会・経済課題を統合的に解決していくことから、「ローカルSDGs」とも言う。



【地域プラットフォームとは】

地域をありたい未来に近づけるための具体的な取組（ローカルSDGs事業）をやる人や事業者（事業主体）を見つけて、事業主体を応援して、地域をよくするための取組を実際にやるという営みが地域でたくさん行われるようにする、地域づくりの加速器という考え方である。

その地域プラットフォーム構築に取り組む活動団体（PF団体）の環境整備のプロセスにかかる支援（構想策定・事業計画策定・ステークホルダーの組織化の各過程に応じた伴走支援等）を行う業務である。



【地域循環共生圏イメージ図】

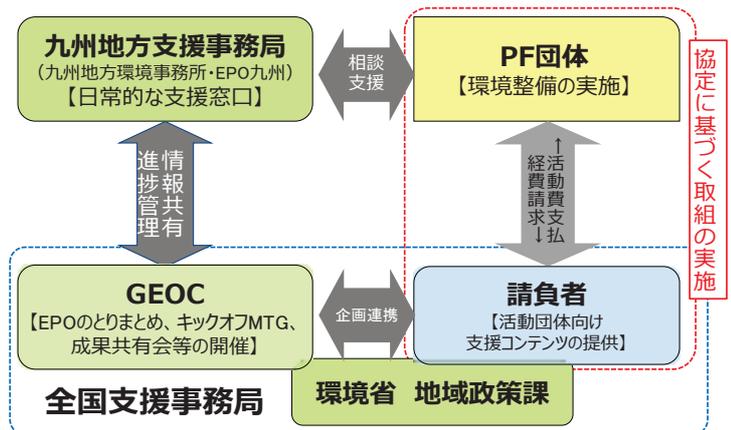
地域循環

①地域循環共生圏プラットフォームの環境整備支援等業務

業務概要

本業務は、全国で採択された地域プラットフォーム活動団体（以下、PF活動団体）が、その取組段階に応じて、地域のネットワークをひろげ、具体的なプロジェクトに取り組む環境づくりを支援するものである。これまでの環境整備支援のノウハウ、各地域での実践に基づく地域プラットフォーム形成を加速させることで、地域循環共生圏の具体的な実現を図る。また、今年度より環境整備支援（主に地方EPO）と事業化支援（全国事務局・請負者）がより連続的に扱われることから、EPOの持つ協働取組に関するノウハウを基盤としつつ、地域金融やマスコミ等と連携した専門的支援の強化を図る。

加えて地域脱炭素の実現は喫緊の課題であることから、これらに積極的に取り組むPF活動団体へのフォローアップやヒアリングを行う。業務実施にあたっては、全国事務局はもとより沖縄地域支援事務局との連携を密に行い、全国レベルでの会合等を活用し支援ノウハウの共有と地域状況に応じた個別対応力を強化し、地域プラットフォームの支援ニーズに効果的に対応する。



【全国×地方での支援体制】

PF活動団体の環境整備が円滑に進めらるよう、全国支援事務局と地方支援事務局が連携し重層的に支援を行う。年間をとおして、キックオフミーティング、中間共有会、成果共有会が企画され進捗共有とともにPF活動団体の成果形成を多面的に支援する。

①地域循環共生圏プラットフォームの環境整備支援等業務

令和5年度 各支援の枠組みによる地域ごとの選定結果

地域	環境整備 新規	環境整備 継続	事業化支援	合計
北海道	—	・株式会社地域循環協創システム	—	1
東北	・一般社団法人ゴジヨる ・西川町地域循環共生イノベーション推進協議会	・株式会社アースカラー	・日承循環合同会社	4
関東	・木更津市 ・株式会社フットボールクラブ水戸オーリーホップ ・NIIGATAMUSICLABORATORY	—	—	3
中部	—	・合同会社ローカルSDクリエイション ・荒山林業	・ななおSDGsスイッチ	3
近畿	・エネシフ湖北	—	・箕川未来協議会 ・多賀町	3
中国	—	・株式会社YMFG ZONE プランニング ・瀬戸内市	—	2
四国	・一般社団法人全国わくわく課協会	・NPO法人大月地域資源活用協議会	・かみかつ茅葺き学校	3
九州	・みやま市 ・玉名市	・やめスマ研究所 ・株式会社 山都竹琉	・田主丸・未来創造会議 ・一般社団法人MIT	6
沖縄奄美	・阿蘇区	・コラコラ (Coral Collabo)	・西表島農業青年クラブ	3
合計	10	10	8	28

①地域循環共生圏プラットフォームの環境整備支援等業務

継続団体



やめスマ研究所（福岡県八女市）

強い田舎を創りたい

- ・SDGsワークショップを通じた仲間づくり
- ・エネルギーの地産地消

重点支援：プラットフォームならではの企画、取組に向けた合意形成と実施体制づくり。2力年の成果の見える化による地域への波及強化。



株式会社山都竹琉（熊本県山都町）

永代不朽のまちづくり：チリも積もれば山都なる！

- ・地域の課題に対応するための産業振興
- ・伐採した竹の有効活用（竹粉など）
- ・有機農業と地域循環共生圏のまちの創造

重点支援：行政との関わりが強化されたことによる、認知向上を追い風にステップアップを支援。プラットフォームの中間支援機能の強化による課題対応力向上を図る。

新規団体



みやま市（福岡県みやま市）

地域で創る、選ばれる環境田園都市

- ・地域での再エネ活用をてこに、住宅や農業での利活用を促進に向けた、対話的な合意形成の場づくりを展開。

重点支援：中山間地ならではの地域脱炭素のモデル的な活動形成に向け、事業者・市民参加による取組推進を支援。



玉名市天水地区（熊本県玉名市）

いきいきと健康で豊かに暮らしていける住民のつながり

- ・地域の主体を結びつけ、支え合うプラットフォーム
- ・多様な地域主体を巻き込んだビジョンの共有

重点支援：行政に依存しがちなマインドを、主体性・当事者性を持ったものへと変容させる場づくりの工夫、ネットワーク支援。

事業化支援団体

- ・田主丸未来創造会議（福岡県久留米市、1年目）
- ・一般社団法人MIT（長崎県対馬市、2年目）

着手時ヒアリングに同席し、年間の取組方針を共有。適宜情報提供とを行い、連携を継続。

【支援ノウハウの蓄積】各プラットフォームの地域コーディネーター機能の担い手を見定め、行政には民間を、民間には行政の力を接続させる。地域の資源や課題に応じた資源連結、解決案の提示、情報提供などを組み合わせる。

①地域循環共生圏プラットフォームの環境整備支援等業務



地域循環共生圏の創造に資するための業務について

